

**「企業の基は人なり」人は自社の最大資産。新入社員教育、年6回の社員面談、自発的な社外研修受講、充実した社内研修制度等、人を育て、人が磨かれる仕組みづくりで企業価値の向上を目指す。**

**企業紹介** ●福岡県小郡市の全域を事業エリアとして家庭ごみ・資源ごみの収集運搬を一手に引き受け、小郡の生活基盤を支えている。その収集形態は、各戸を1軒1軒回りながら収集する経路収集方式。ごみを自宅前に出せば済むため、当社のおお客様である市民にとって非常に利便性が高い。さらに当社では各ご家庭のご要望や諸事情に応じて、業務委託契約の仕様を上回る収集サービスを行う場合もある。また、高齢者世帯の増加、女性の社会進出等によるニーズにお応えするため、暮らしの困りごとをお手伝いする生活支援サービス「お仕事人」を2009年より開始。企業理念は「みんなの生活を快適にします」。お客様の快適な生活を支える「快適生活サポートカンパニー」を目指す。

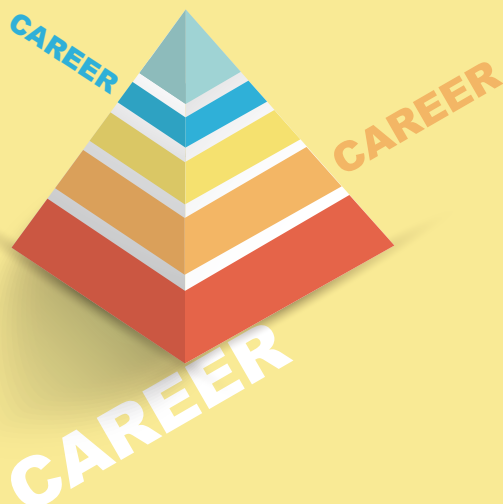
**プロフィール** 事業内容(業種) 一般廃棄物処理業  
所在地 福岡県小郡市  
従業員数 35人(男性30人、女性5人、非正規雇用社員4人)  
平均年齢 35歳(2014.12.25.現在)

## キャリア支援の取組

### わが社の理念・方針

## みんなの生活を快適にします

- 当社では、挨拶や礼儀等の基礎的な対人能力が最も大切なことと考えている。入社後、最初の指導が社内での行動規範を定めた「基準自立行動」。
- 次に、実務を「教育・評価シート」にて指導する。お客様に心のこもったサービスを提供し、自社業務に限らずどんな仕事でも対応できる人財の育成を目指している。その基盤が経営理念に基づく行動指針「共有価値」と「行動規範」。
- また、休業日に全社員を対象とした自社主催の「ビジネススクール(BS)」、基幹職層対象の「ビジネスカレッジ(BC)」をそれぞれ年6回計12回開催。BSは、業務知識の習得や能力開発、価値観共有のための研修。BCは次世代管理者、経営者育成のため、人格形成を柱とし、経営管理、組織管理など幅広く学ぶ。
- 社内の教育制度では補えない分野は、中小企業大学校や外部の研修機関へ派遣。全社員に次年度の研修参加希望をとり、ほぼ希望に沿った参加を承認している。研修参加の日程を年間の業務計画表に落とし込み、毎年100%漏れなく派遣している。
- その他、入社日から現在までの所属部門、職位、所属期間、取得資格、研修受講歴を記載したキャリア名簿を作成し、将来のキャリア形成に役立てるほか、ジョブカードの一部として活用している。このように社員の成長を長期的な視点で見守り、本人の成長と自覚を待つ懐の深い企業風土である。



## キャリア支援の具体的な取組

入社後3年間、就業中のほぼ全時間が教育研修という圧倒的な人財育成への情熱

### ①キャリア目標の設定・見直しの仕組み

まず、入社に際し総合職育成プログラムにて5年後までの育成計画と期待される成長レベル、獲得すべきスキル、提供される教育の機会などをビジョンとして掴んでもらうのがキャリア目標設定の最初の機会となる。次に、毎期末(年度末)に、次期(次年度)1年間で達成したい目標を設定した後、期初の経営計画発表会にて全社員に対し発表する。また、年間を通じ6回の社員面談を実施している。社長面談(4月・10月)、リーダー面談(1月・7月)、グループ長面談(4月・10月)にて、1対1のコミュニケーションの機会を通じ、公私の近況について情報交換しつつ、職務及びキャリアに関する希望や悩みなどを聴き取り、次の目標設定の機会としている。その他、外部研修に参加する際、研修直前と修了直後、終了3ヶ月後に社長面談を行う。

### ②職業能力開発・自己啓発機会への取組

#### 【社内教育研修】

入社時研修	入社日(例年3/15前後)～2週間	社会人としての基礎的知識、心構え、ビジネスマナーを教育
・サービススタッフ基礎教育 ・サービスドライバー基礎教育	サービススタッフ教育 4月～6月の3ヶ月間 サービスドライバー教育 1月～3月の3ヶ月間	廃棄物収集運搬業務のスキル獲得のための教育
経営・支援スタッフ基礎教育	4月～最長3年間	経営・支援部門(総務・経理・人事)のスキル獲得のための教育
開発・営業スタッフ基礎教育	4月～最長3年間	開発・営業部門(生活支援サービス)のスキル獲得のための教育
ビジネススクール	年6回(原則奇数月) 全社員対象	業務上必要な知識の習得や能力開発及び価値観共有のための教育
ビジネスカレッジ	年6回(原則偶数月) 次期経営者・基幹職候補対象	経営管理、組織管理、人格形成のための学習

- ・エコドライブ講習 3年に1回程度 1日
- ・認知症サポーター養成講座 3年に1回程度 1日
- ・普通救命講習 3年に1回程度 1日
- ・労働安全講習 毎年1回 1日
- ・交通安全講習 毎年1回 1日
- ・緊急事態教育訓練 毎年1回 1日
- ・人権学習会 毎年1回 1日
- ・健康講座 毎年1回 1日



## 【社内教育研修】

### ●印の研修は就業時間内に派遣

1年目	●法人会新人研修 1日 ●接遇対応セミナー(基本編) 1日 ●接遇対応セミナー(苦情編) 1日 ●若手社員研修 1日 ●ISO内部監査員研修 2日 日商簿記3級講座及び受験 約5ヶ月 サービス接遇検定2級取得 1日 日経テスト受験 1日 ●電話対応能力向上講座 5日
2年目	●中小企業大学校各種研修コース 3日程度を1~2回 RYLA研修(ロータリークラブ主催) 2日 日商簿記2級講座及び受験 約5ヶ月 日経テスト受験1日
3年目~5年目	●中小企業大学校各種研修コース3日程度を1~2回 ●廃棄物関連実務者研修1日 ●社会保険事務関連実務者研修3日程度 ●指導者研修1日 吉田松陰研修塾(希望者のみ)8日 ファイナンシャルプランナー2、3級取得推奨 日経テスト受験1日
6年目以降	●中小企業大学校経営管理者コース(受講者は選抜) 4日間×6ヶ月=24日間

### ③多様な働き方への取組み

市委託の基幹業務推進以外の取組は、全て社内プロジェクト。当社にとって最も主要かつ貴重な人財育成の機会である。過去の主な取組は以下のとおり。

- ・環境管理ISO14001及び品質管理9001の認証取得にかかるプロジェクト
- ・個人情報保護Pマークの認証取得及び社内情報システム構築にかかるプロジェクト
- ・福岡県リサイクル総合研究所との「緑のリサイクル」共同研究プロジェクト
- ・植物粉碎収集車「グリーンザウルス」開発販売プロジェクト
- ・車両管理システムプロジェクト
- ・人事及び評価システム改編プロジェクト
- ・人財採用及び教育訓練システム構築プロジェクト
- ・新規事業創出プロジェクト⇒現在の生活支援サービス「お仕事人」の立ち上げにつながった。グループ会社『環境サポート』として当社から独立。
- ・2013年3月経済産業省「おもてなし経営企業選50社」受賞を機に「おもてなし経営向上委員会」を発足。



## 取組の効果や課題と今後の取組の方向

### 地方から全国区の廃棄物処理業者へ

#### ①具体的な成果

- ・複数部門業務対応者がH19年当時4名からH26年現在20名へ(社員全体の約1/3)
- ・10種類以上資格保有者が22名(取得費用の全額又は半額を会社負担で取得支援)
- ・女性社員はH23年当時総務・経理スタッフの2名から、新たに総合職3名を採用育成
- ・生活支援サービス事業の躍進(創業時の売上が5年で倍増)
- ・マネジメントシステムの充実(品質、環境、情報、労働安全、人財育成等)
- ・緊急事態発生時でも事業を存続させる『事業継続計画BCP』の策定
- ・人財等無形財産に焦点をあてた『知的資産経営報告書』の作成
- ・自社手作り新聞『きょうえい通信』刊行(現在10版発行)
- ・2013年経済産業省より『おもてなし経営企業選50社』受賞
- ・2014年厚生労働省より『キャリア支援企業表彰』受賞



#### ②課題及び今後の取組み

最大の課題はキャリア目標の設定である。基幹職が育成ビジョンを明確にし、社員はそれに挑み、達成できるように会社全体で支援し、精度とスピードを上げる必要がある。

一人ひとりの成長が職場の仲間を助け、生産性を高め、ひいては競争力の源泉となり企業価値の増大と雇用の継続に繋がる。そのような相乗効果をもたらす人財育成、キャリア支援の仕組みをブラッシュアップする。自分で成長しようとする人で溢れる職場風土を醸成し、今後も社会に有用な人財を一人でも多く育成していく。

### 廃棄物収集スタッフから グループ会社の『代表取締役』に 就任!

◎H8年サービス部門に一人の男性社員が入社。廃棄物収集業務に4年間従事した後、H12年開発・営業部門に主任として異動し、H13年係長を経てH16年部門長であるリーダーに就任。H23年生活支援サービス部門を独立させた(株)環境サポートを設立し、取締役就任。H26年同代表取締役に就任(現在45歳)。(有)共栄資源管理センター小郡の開発・営業チームリーダーも兼務している。H11年の植物粉碎収集車『グリーンザウルス』開発当初からプロジェクトを率い、製品化に成功した後、販売、アフターフォローで全国を回った。ビジネスの艱難辛苦を味わい、その過程で多くの取引先を開拓、同業・異業経営者と出会い、刺激を受け、人間性が磨かれた。H22年より、それまで培った経験と社会的情勢、廃棄物収集運搬という業態、長年蓄積したノウハウと地域からの信頼、優秀な人財、これらを最大限有効活用できる事業として「生活支援サービス」を展開する。

#### トピック

#### 『女性と子どもの安全見守り企業』表彰を 福岡県より受賞

「平成26年度安全・安心まちづくり県民の集いふくおか」にて、福岡県知事より表彰されました。ごみ収集車に「地域安全パトロール」のステッカーを貼り付け、ごみの収集中に児童・生徒の登下校安全を見守る活動や防犯パトロール活動、環境美化活動などの取り組みが認められました。

